

2011年8月31日～9月1日

「日本武道学会 第44回大会」が、本学を会場に開催されました。



2011年8月31日(水)～9月1日(木)の2日間にわたり、日本武道学会第44回大会が、国際武道大学を会場に開催されました。

一般研究発表は、人文・社会科学系、自然科学系、武道指導法、ポスター発表に分かれ98演題、その他特別講演、本部企画フォーラムが行われました。全国から約250名が参加し、会場は活発な議論の熱気に包まれました。

学会初日には、地元勝浦市商工会、勝浦市商工会青年部の協力を得て、勝浦名物タンタンメンの試食会、勝浦物産展・販売を行いました。また、大会会場において協賛企業、武道資料の展示の他、東日本大震災への義援金募集を行いました。千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」も参加し、本学教職員と学生スタッフ総勢70名の運営スタッフが大会運営を支えました。

主な大会概要および日程は下記のとおりです。

主催 日本武道学会
後援 国際武道大学、勝浦市教育委員会、財団法人千葉県体育協会、日本武道館研修センター
協賛 東海教育産業株式会社、ミズノ株式会社、大塚製薬株式会社、株式会社クレーマージャパン、株式会社ベースボール・マガジン社、株式会社セイエイ、小西酒造株式会社、三福商事株式会社、創文印刷工業株式会社、勝浦市商工会、勝浦市商工会青年部、熱血!! 勝浦タンタンメン船団
大会委員長 蒔田 実 (国際武道大学学長)
大会事務局長 柏崎克彦 (国際武道大学)

8月31日 総合司会 柏崎克彦
特別講演 武道の比較文化論的考察 魚住孝至 (国際武道大学)

フォーラム 武道の固有性を新たに問う

— 武道の国際的普及をめぐる —

パネリスト 坂上康博（一橋大学）

アレキサンダー・ベネット（関西大学）

司 会 長尾 進（明治大学）

松尾牧則（国際武道大学）

国際武道大学教員・学生による一般研究発表が 15 題ありました。

8月31日

【人文・社会科学系】

石塚正一 武道と健康に関する調査研究

—健康生成論の視点から—

林 伯原 中国明代における槍術の実態に関する研究

立木幸敏 1700年前後の小野家の刀法について

—小野家・津軽家伝書に基づく研究—

【武道指導法系】

大矢 稔 中学校武道必修化に伴う剣道指導法のあり方

座長 丸橋利夫

—『武道論集』の検討—

宮腰浩一 学校体育(柔道)に適應可能なカリキュラムの試み

—K大学における基礎柔道指導法を通して—

【ポスター発表】

松尾牧則 星野勘左衛門に関する弓術伝書と弓具

笠原政志 高校弓道選手におけるコンディショニングの実態調査

矢崎利加 障害者に対する柔道療育の可能性

9月1日

【人文・社会科学系】

Sori Doval, Maja ドイツにおける柔術の展開及びその受容

座長 田中 守

【武道指導法系】

米田 聡 後方への受け身の安全性について

山下迅香 IJF ルール改正に伴う柔道選手の意識調査

松井完太郎 障害者武道に関する事例の共有化

【ポスター発表】

井上哲朗 剣道団体試合における選手配置に関する研究(1)

岩切公治 剣道団体試合における選手配置に関する研究(2)

井下佳織 空手道における傷害

—国民体育大会におけるトレーナーステーション利用状況から—

~ 大会風景 ~

